

第39回全日本中国語スピーチコンテスト 佐賀県大会開催

日本における中国語学習の普及・向上を目指すことを通じて、日中両国の友好と増進に貢献するため、中国語スピーチコンテスト佐賀県大会を毎年開催しています。学生朗読・暗誦の部、一般朗読・暗誦の部、弁論の部で日頃の中国語学習成果を発表できる絶好の機会です。また、弁論の部で1位の発表者は全国大会に推薦いたします。

開催日：令和3年10月23日(土) 受付:9時30分 開会:10時～15時予定
会場：(学法)佐賀龍谷学園龍谷高校 講堂

☆令和2年10月開催スピーチコンテスト佐賀県大会(神埼市中央公民館)☆



開催挨拶：神埼地区日中實松信子会長(右)



西早蘭審査委員長(中央)と姚遠(左)、章潔(右)審査委員



学生暗誦の部入賞嬉野高校



学生朗読の部入賞嬉野高校



一般朗読の部1位鳥栖市



一般暗誦の部1位&朗読の部2位 武雄市



弁論の部で昨年に続き1位の山口桃佳さん



中国語の勉強を始めて僅か1年で弁論の部出場の佐賀女子短大1年の渡辺桜さん

まるごと佐賀

【県内】 佐賀県日中友好協会(篠塚周城会長)主催の全日本中国語スピーチコンテスト県大会が25日、神埼市中央公民館で開かれた。暗唱、朗読、弁論の3部門で競い、弁論の部では昨年に続き山口桃佳さん(24)〔佐賀市〕が1位に輝いた。

山口さんは中国留学時の親身なホテル従業員との思い出を発表。中華料理店で一緒に食事をし、同じ東アジアの国だが食文化の違いを感じたと話した。

中国語スピーチコンテスト県大会 山口さん(佐賀市) 弁論1位

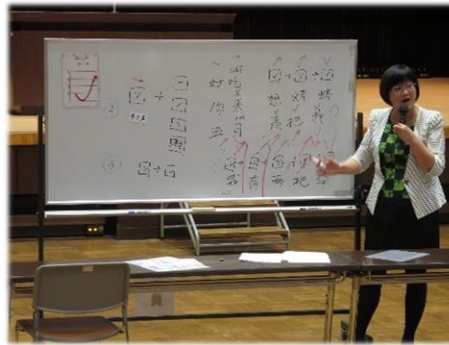
発音の正しさや文章の区切りの正確さ、感情が表現できているかなどを基準に審査。審査委員長の西早蘭さんは、全体的に正確な発音や豊かな表現に感心した。一般の部のレベルが高かったと評価した。

県内外から学生、一般の部に22人が出場。山口さんは昨年度、全国6位に入賞しており、今回も来年1月に東京都で開催予定の全国大会に推薦される。

また県大会では新型コロナウイルスの影響で困難する中国人留学生への食糧支援の協力呼び掛けもあり、会場には募金箱を設置していた。

他の入賞者は次の通り(敬称略)

【学生・暗唱】嶋田瑠音(嬉野高) 一般・暗唱)①安部大造(武雄市)②佐藤和幸(伊万里市)③三又まり(伊万里市) 吉原千絵(神埼市) 【学生・朗読】一ノ瀬葉月(嬉野高) 一般・朗読)①高木芹菜(鳥栖市) ②安部大造(武雄市) ③横寺紀子(伊万里市) 吉村恭太(伊万里市) 吉原千絵(神埼市) 【弁論】②渡辺桜(佐賀女子短大)



審査発表後審査委員長の西早(旧姓陳)蘭先生解説
～中国語は405個の発音に加え、四声という正調の組み合わせでとても難しい発音を分かりやすく解説～



←佐賀商業・佐賀女子短大で中国語担当の佐賀大学博士課程(今春卒業)張麗琦先生(中央)と佐賀女子短大出場者2名。



学友会の皆さんと昼食後の交流



コンテスト開催担当地区の神埼地区日中が開催している太極拳教室の会員による優雅な舞

紙面1以外の参加者(発表順)



学生暗誦の部：佐賀女子短期大学



一般暗誦の部：伊万里地区



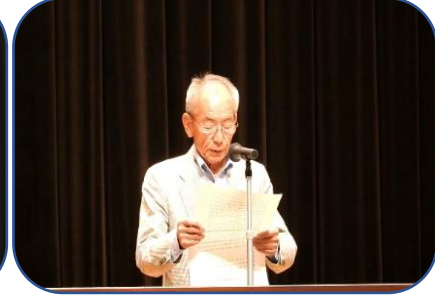
神埼地区



一般朗読の部：佐賀地区



佐賀地区



伊万里地区



一般朗読の部：伊万里地区



伊万里地区



伊万里地区



一般朗読の部：神埼地区



神埼地区



福岡県



一般朗読の部：小城地区



小城地区



小城地区